

第11回「秋祭り」

松崎町では、地域の文化を継承する祭りが各地区にあります。中でも、私の住んでいる地域の秋祭りは、11月の2日、3日に獅子の部、神輿（白丁）の部、山車（太鼓台）の部、三番叟の部と盛りだくさんのお祭りです。地元の氏子総代が主催し、三省社という若い衆が執行するもので、元々は新嘗祭という米の収穫を神に感謝し、お祝いする行事です。一年間の意地域の平穏と五穀豊穰の感謝を神さまに奉納するものです。新型コロナウイルス感染症により、今年は二年ぶりの開催、かつ3日のみの行事の縮小となりましたが、町に活気が少しずつではありますが戻ってきた気がします。地域のお祭りは、他業種他年代が一つの目的で集い、強固なコミュニティを形成してきました。これから訪れる少子超高齢化の人口減少社会において、最も必要なのは、人のつながりです。祭りは、一年に一度地域の住民が季節を感じ、笛太鼓に心躍ることができる節目の行事です。この行事を通じて地域の人がつながり、支え合うことを確認する機会でもあります。さあ、みんなで秋祭りを楽しみましょう！